令和7年度
自己評価・関係者評価
報告書

令和８年６月１日

学校法人仙都学園

専門学校東北動物看護学院

１. 学校の教育目標

■ 設立目標

高度化する獣医療現場において、獣医師の満足する愛玩動物看護師の育成および愛玩動物看護師における社会的地位の向上を目標とする。

■ 教育方針

・動物病院への就職を前提とした即戦力となる人材の育成
・臨床獣医師による実習を多く取り入れた実践的教育
・専門知識のみならず顧客を満足させるサービス業としての人材育成
・専任職員による個々への丁寧な生活指導および就職指導

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・愛玩動物看護師（国家資格）の全員合格
・動物関連企業への全員就職
・退学率を５%未満に抑える

３．自己評価委員および関係者評価委員

自己評価委員会

・茂木　國男（理事長）
・茂木　徳子（副理事長）
・茂木　敏伸（学校長）
・茂木　康秀（総務部長）
・林　　弘之（就職担当）
・鳥居　正享（入学担当）

関係者評価委員会

養成教育に係る臨地・臨床実習施設関係者代表
・中尾　　淳（アセンズ動物病院　院長）

学生の出身高等学校関係者代表
・三浦　義博（宮城県柴田農林高等学校　教諭）

本校卒業生代表
・関　　良太（平成 22 年度卒業生）

４．評価項目の達成及び取組状況

（１）教育理念・目標

評　価　項　目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	４
学校における職業教育の特色は明確になっているか	４
学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	４

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】
学校の設立目標に基づき学校の教育理念を定め、今の獣医療現場で求められる人材の育成を目標に教育に取り組んでいる。
学校の設立目的や教育方針、学校の特色についてはホームページおよび募集要項に掲載しており、学生・保護者等に十分に周知されている。

【課題と今後の改善方策】
学校の教育方針は、社会の変化や業界のニーズの変化に応じて見直されていくべきものと考えるので、今後も獣医療の進歩や動物看護師を取り巻く社会情勢の変化を見極め、より的確な教育方針を打ち出していく必要があると考えます。

【関係者評価】
特になし

【特記事項】

（２）学校運営

評 価 項 目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	４
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	４
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	４
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	３
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	４
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	３

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】
運営方針や事業計画については、運営会議により策定され、運営組織や意思決定機能は規則等による明確化がされている。業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制につては、法律を遵守し、社会倫理に従って運営されている。

【課題と今後の改善方策】
情報システム化による業務の効率化は出来る範囲では行っているが、日々発展するＩＴを利用し、さらなる効率化が図れるものと考える。システム導入による費用対効果を検証しながら効率化を進めていきたい。

【関係者評価】
運営組織の組織図や、今後どのような規則をどこまで明確にしていくかが重要となる。

【特記事項】

（３）教育活動

評 価 項 目	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	４
教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	４
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが行われているか	４
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	４
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	４
授業評価の実施・評価体制はあるか	４
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	４
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	４
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	４
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	４
関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	３

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】

カリキュラムの編成及び教育方法は関連企業と連携し、常に最新の知識・技術が取り入れられており、その評価体制・認定基準も明確化されている。職業教育（インターンシップ）は積極的に取り組んでおり、実践的な教育が行われている。外部講師には臨床経験豊富な先生方に協力いただいており、今の獣医療現場に対応できる人材の育成を進めている。

【課題と今後の改善方策】

教員の育成については、獣医療セミナー等への参加等で知識向上に取り組んでいるが、教育セミナーなど指導力の向上については今後必要と考えており、実施していきたい。

【関係者評価】

特になし

【特記事項】

（４）学修成果

評 価 項 目	評価
就職率の向上が図られているか	４
資格取得率の向上が図られているか	３
退学率の低減が図られているか	２
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	３
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	３

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】

就職率については、今年度は修業年限の変更により卒業生が出ない年のため実績はないが、ここ数年 90%以上が動物関連企業に就職できているため、今後も継続していきたい。
退学率は目標の 5%を上回り 7.8%だったので、更に対策が必要かと思われる。

【課題と今後の改善方策】

国家試験の合格率は、本年度全国平均 76%のところ、本校卒業生は 85%であった。
全国平均は上回ったが、目標は 100%合格なので、今後もさらに模擬試験の実施などを通して学生自身の不得意分野を明確化し、試験対策を強化していきたい。

【関係者評価】

愛玩動物看護法が施行され、愛玩動物看護師の活躍の場が広がると思います。今後もご指導の程、宜しくお願いいたします。

【特記事項】

（５）学生支援

評 価 項 目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	４
学生相談に関する体制は整備されているか	４
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	４
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	３
学生の生活環境への支援は行われているか	３
卒業生への支援体制はあるか	３

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】

就職支援体制は、複数の担当職員でフォローを行っている。学生相談は基本的に担任が担うが、その他の職員も目を配り、気軽に相談できる体制ができている。経済支援は国や自治体の行う就学支援を利用できる体制をとっており、学納金の納付が困難な学生には個別に分納などで対応している。健康管理については年一回の健康診断を実施しているが、メンタルケアまでは対応できていない。生活環境への支援については、学生寮の設置、生活指導など行っている。卒業生への支援については、再就職の斡旋等行っている。

【課題と今後の改善方策】

就職担当職員の負担増は担当職員の増員により対応したい。学生の健康管理については、心のケアもできる人材の配置も検討していきたい。生活環境への支援については、起こりうるトラブル（犯罪や消費者問題など）についての対処方法などレクチャーする機会を設けていきたい。卒業生の支援として、今後は卒業生を対象とした動物看護師セミナーなども企画・実施していきたい。

【関係者評価】

卒業生の支援として、動物病院での労働待遇の改善（勤務時間、給与、福利厚生等）をより一層お願いいたします。

【特記事項】

（６）教育環境

評 価 項 目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	４
学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	３
防災に対する体制は整備されているか	４

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】
学校施設については、備品や細かな実習用具などは随時更新している。
インターンシップは積極的に行っているところではあるが、就職活動としての比重が大きく、教育実習としての目的が曖昧になっている。防災については、防火設備、定期点検など実施している。

【課題と今後の改善方策】
老朽化した設備については、随時更新していきたい。インターンシップについては、教育実習としての目的や到達目標等を明確にしていきたい。

【関係者評価】
様々な災害を想定しての対策は大変かと思うが、たくさんの学生をあずかる以上、万全の体制で取り組んでほしい。

【特記事項】

（７）学生の受け入れ募集

評 価 項 目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	４
学生募集活動において教育成果は適正に伝えられているか	４
学納金は妥当なものとなっているか	４

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】

学生募集についてはここ数年順調なので、学校の魅力や教育目標をしっかりと伝えられていると評価する。教育成果については学校案内パンフレットやホームページ等で適正に伝えられている。学納金についても県内の同分野校と比較しても同等程度であり妥当と考える。

【課題と今後の改善方策】

学生募集については現状を維持できるよう全職員で協力していきたい。今後はさらにインターネットを利用した様々な媒体が活用できるよう常に最新の情報を共有していきたい。

【関係者評価】

少子化が進む昨今において、募集活動は苦労されているかと思うが、知恵を出し合い頑張っていただきたい。

【特記事項】

（８）財務

評 価 項 目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	４
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	４
財務について会計監査が適正に行われているか	４
財務情報公開の体制整備はできているか	４

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】
学校の予算・収支計画は有効かつ妥当であり財務基盤も安定して問題がない。会計監査も外部監査により適正に行われている。財務情報もホームページ上で適正に公開されている。

【課題と今後の改善方策】
今後も継続して適正に実施していくが、施設・設備の充実のために財政基盤をより盤石なものとなるよう努力していきたい。

【関係者評価】
特になし

【特記事項】

（９）法令等の尊守

評 価 項 目	評価
法令・専修学校設置基準等の尊守と適正な運営がなされているか	４
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	３
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	３
自己評価結果を公開しているか	４

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】
法令・専修学校設置基準等については常に細心の注意を払って適正に運営している。個人情報の保護については、パソコン上のデータ漏洩を防止するためにセキュリティ対策を行っている。

【課題と今後の改善方策】
個人情報については、外部からの攻撃には対応しているが、内部の情報漏洩、情報の持ち出し等については対応が不十分と思われるので、今後セキュリティの強化が必要と考える。自己評価については今後毎年実施し、学校運営における問題点の洗い出しとその改善に努めていきたい。

【関係者評価】
情報の公開と情報の守秘は表裏一体です。大変ですが、より一層の尊守をお願いいたします。

【特記事項】

（１０）社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	４
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	３
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	２

適切：４　ほぼ適切：３　やや不適切：２　不適切：１

【自己評価】

学校の施設を利用して地域の飼い主のいない猫の保護・譲渡活動を行っており、毎年 100 頭以上の猫たちを新しい飼い主様へ譲渡している。学生は保護猫のお世話を通してボランティア精神の醸成、地域貢献に繋がると考えます。また、学校犬を連れて近隣の老人養護施設へ定期的に訪問活動も実施している。

【課題と今後の改善方策】

地域の小中学校の職場体験、職業体験等については積極的に受け入れているが、地域に対する公開講座・教育訓練等の実施については、今まで一度も行われたことがないので、今後実施に向けて検討していきたい。

【関係者評価】

もはや動物は家族です。家族を守っていることの貢献はかけがえのないものです。

【特記事項】